



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月11日
上場取引所 東

上場会社名 森永製菓株式会社

コード番号 2201

URL <https://www.morinaga.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 太田 栄二郎

問合せ先責任者(役職名) 執行役員 コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 国近 文子

(TEL) 03-3456-0150

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	47,605	△9.2	5,274	△14.6	5,668	△12.9	3,985	△10.6
2020年3月期第1四半期	52,430	4.3	6,177	21.8	6,510	20.0	4,455	52.7

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 6,306百万円(3.2%) 2020年3月期第1四半期 6,111百万円(582.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	79.23	—
2020年3月期第1四半期	88.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	188,379	108,168	57.0
2020年3月期	188,060	105,487	55.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 107,312百万円 2020年3月期 104,665百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	72.00	72.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	72.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	98,700	△7.7	10,400	△19.8	10,700	△20.9	7,200	△21.3	143.14
通期	198,000	△5.2	18,000	△15.2	18,300	△16.6	12,300	13.6	244.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	54,189,769株	2020年3月期	54,189,769株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	3,888,792株	2020年3月期	3,888,289株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	50,301,086株	2020年3月期1Q	50,301,685株

※期末自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式(2021年3月期1Q 24,564株、2020年3月期 24,564株)が含まれております。また、役員報酬BIP信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大により、様々な経済活動が抑制されたことで消費行動の変化に伴う対応を迫られ、厳しい経営環境となりました。

このような状況のもと、当社グループにおきましても各事業セグメントで影響を受けたことにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は、全体では476億5百万円と前年同期実績に比べ48億2千5百万円（9.2%）の減収となりました。

損益は、売上高の減収等により、営業利益は前年同期実績に比べ9億3百万円（14.6%）減益の52億7千4百万円、経常利益も前年同期実績に比べ8億4千2百万円（12.9%）減益の56億6千8百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期実績に比べ4億7千万円（10.6%）減益の39億8千5百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<食料品製造事業>

菓子食品部門

国内主力ブランドでは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大により外出機会が減少したことから、いわゆる巣ごもり需要と呼ばれる家庭内消費が増えた影響により、「森永ビスケット」は好調に推移しました。一方、外出機会の減少により、行楽需要等が落ち込んだことから「ハイチュウ」は前年同期実績を大きく下回りました。また、「チョコボール」「ダース」「カレ・ド・ショコラ」「森永甘酒」も前年同期実績を下回ったことで主力ブランド全体では前年同期実績を下回りました。

その他のブランドでは、「森永ホットケーキミックス」「森永ココア」が巣ごもり需要増加の影響により好調に推移しましたが、「プリングルズ」が2020年3月に販売店契約を終了した影響もあり国内全体では前年同期実績を下回りました。

海外では、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大により、中国は前年同期実績を下回りましたが、台湾は前年同期実績並み、また米国は好調に推移したことで、海外全体では前年同期実績を上回りました。

これらの結果、菓子食品部門全体の売上高は242億9千7百万円と前年同期実績に比べ40億2千8百万円（14.2%）減となりました。

損益は、原価改善、販売費及び一般管理費の抑制等、コスト削減に取り組んでまいりましたが、コロナ禍による減収影響を吸収するには至らず、営業利益は前年同期実績に比べ5億4千5百万円（24.9%）減益の16億4千4百万円となりました。

冷菓部門

主力ブランドの「ジャンボ」グループは、積極的なプロモーションを展開した効果に加え、「バニラモナカジャンボ」が引き続き好調に推移し、前年同期実績を上回りました。その他のブランドでは、「板チョコアイス」や「パリパリバー」等が前年同期実績を大きく上回りました。

これらの結果、冷菓部門全体の売上高は141億9千万円と前年同期実績に比べ29億1千4百万円（25.8%）増となりました。

損益は、主要なブランドが好調に推移したことにより、営業利益は前年同期実績に比べ8億3千5百万円（47.9%）増益の25億7千6百万円となりました。

健康部門

主力ブランドの「i nゼリー」は、飲用シーンの提案やプロテニスプレーヤーの錦織圭選手と大坂なおみ選手の名を冠した「i nゼリー<エネルギー KEI SPECIAL>」「i nゼリー<エネルギー NAOMI SPECIAL>」の販売などブランドの強化に努めてまいりましたが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大に伴う外出機会の減少等の影響により「i nゼリー」の売上高は前年同期実績を大きく下回りました。

「天使の健康」シリーズの通販事業は、「おいしいコラーゲンドリンク」が前年同期実績を上回り、通販事業全体としても前年同期実績を上回りました。

これらの結果、健康部門全体の売上高は75億3千7百万円と前年同期実績に比べ32億8千2百万円（30.3%）減となりました。

損益は、効果的な広告費の投入、販売費及び一般管理費の抑制等、コスト削減に取り組んでまいりましたが、コロナ禍による減収影響を吸収するには至らず、営業利益は前年同期実績に比べ12億8百万円（55.8%）減益の9億5千8百万円となりました。

[主な商品の前年同期比 （単位：％）]

菓子食品部門		冷菓部門	
森永ビスケット	117	ジャンボグループ	117
チョコボール	93	健康部門	
ダース	91	i nゼリー	57
ハイチュウ	73		
カレ・ド・ショコラ	86		
森永甘酒	99		
菓子食品主力品計	92		

※表内の数値は国内売上にて算出

これらの結果、<食料品製造事業>の売上高は460億2千5百万円と前年同期実績に比べ8.7%減となりました。セグメント利益は51億7千9百万円と前年同期実績に比べ9億1千9百万円の減益となりました。

<食料卸売事業>

売上高は、10億3千万円と前年同期実績に比べ25.0%減となりました。セグメント損失は1千万円と前年同期実績に比べ8千6百万円の減益となりました。

<不動産及びサービス事業>

売上高は、4億1千8百万円と前年同期実績に比べ15.7%減となりました。セグメント利益は1億6千6百万円と前年同期実績に比べ5千6百万円の減益となりました。

<その他>

売上高1億3千万円、セグメント利益2千9百万円であります。

なお、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）によって生じている経営成績への影響については、「3. 補足情報 ④ 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の主な影響」に記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は1,883億7千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億1千9百万円増加しております。主な要因は、現金及び預金が減少した一方で、建物及び構築物（純額）や機械装置及び運搬具（純額）、投資有価証券が増加したことなどによるものであります。

負債の残高は802億1千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億6千2百万円減少しております。主な要因は、流動負債のその他に含まれる設備関係未払金が増加した一方で、未払金が減少したことなどによるものであります。

純資産の残高は1,081億6千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億8千1百万円増加しております。主な要因は、その他有価証券評価差額金が増加したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末より1.3ポイント増加し、57.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年5月14日発表の業績予想から変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大の影響が長期化した場合等により、業績予想の修正を行う必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	43,427	33,820
受取手形及び売掛金	20,969	19,787
商品及び製品	10,885	12,321
仕掛品	383	393
原材料及び貯蔵品	6,264	7,191
その他	4,431	4,614
貸倒引当金	△31	△31
流動資産合計	86,328	78,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,206	25,008
機械装置及び運搬具(純額)	16,917	19,430
土地	21,581	21,574
その他(純額)	11,569	9,902
有形固定資産合計	70,275	75,915
無形固定資産		
のれん	294	269
その他	237	240
無形固定資産合計	532	510
投資その他の資産		
投資有価証券	26,175	29,149
退職給付に係る資産	3,085	3,071
繰延税金資産	773	755
その他	924	916
貸倒引当金	△36	△37
投資その他の資産合計	30,923	33,855
固定資産合計	101,731	110,282
資産合計	188,060	188,379

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,443	19,694
未払金	16,178	10,150
未払法人税等	4,454	489
賞与引当金	2,609	1,339
その他	17,169	21,458
流動負債合計	57,855	53,132
固定負債		
長期借入金	10,000	10,000
繰延税金負債	1,690	3,914
役員株式給付引当金	33	39
環境対策引当金	303	303
退職給付に係る負債	8,169	8,328
資産除去債務	52	53
受入敷金保証金	3,708	3,707
その他	760	731
固定負債合計	24,717	27,078
負債合計	82,573	80,211
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,612	18,612
資本剰余金	17,281	17,281
利益剰余金	64,572	64,934
自己株式	△11,279	△11,282
株主資本合計	89,187	89,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,660	16,041
繰延ヘッジ損益	7	0
為替換算調整勘定	600	501
退職給付に係る調整累計額	1,211	1,221
その他の包括利益累計額合計	15,478	17,765
非支配株主持分	821	856
純資産合計	105,487	108,168
負債純資産合計	188,060	188,379

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	52,430	47,605
売上原価	24,357	22,339
売上総利益	28,072	25,265
販売費及び一般管理費	21,895	19,991
営業利益	6,177	5,274
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	366	404
その他	44	69
営業外収益合計	411	474
営業外費用		
支払利息	16	7
持分法による投資損失	14	12
減価償却費	15	31
その他	32	28
営業外費用合計	78	79
経常利益	6,510	5,668
特別利益		
固定資産売却益	1	0
投資有価証券売却益	1	—
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除売却損	109	143
その他	—	0
特別損失合計	109	143
税金等調整前四半期純利益	6,403	5,525
法人税、住民税及び事業税	1,578	286
法人税等調整額	334	1,204
法人税等合計	1,912	1,491
四半期純利益	4,490	4,033
非支配株主に帰属する四半期純利益	35	48
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,455	3,985

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	4,490	4,033
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,594	2,381
繰延ヘッジ損益	△22	△7
為替換算調整勘定	30	△102
退職給付に係る調整額	6	10
持分法適用会社に対する持分相当額	10	△8
その他の包括利益合計	1,620	2,273
四半期包括利益	6,111	6,306
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,079	6,271
非支配株主に係る四半期包括利益	31	35

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響)

当社グループは新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響について、前連結会計年度の有価証券報告書（追加情報）（会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響）に記載の内容から重要な変更は行っておりません。

なお、当該仮定は不確実性が高く、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の影響が長期化した場合等には、将来の連結財務諸表に重要な影響を与える場合があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製 造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	50,422	1,374	496	52,292	137	52,430	—	52,430
セグメント間の内部売上高	197	55	0	253	243	496	△496	—
計	50,619	1,429	496	52,546	380	52,926	△496	52,430
セグメント利益	6,098	76	222	6,397	11	6,408	△231	6,177

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額△231百万円には、セグメント間取引消去5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△205百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	食料品 製 造	食料卸売	不動産 及び サービス	計				
売上高								
外部顧客への売上高	46,025	1,030	418	47,474	130	47,605	—	47,605
セグメント間の内部売上高	12	38	0	51	233	284	△284	—
計	46,038	1,069	418	47,526	363	47,889	△284	47,605
セグメント利益又は損失(△)	5,179	△10	166	5,334	29	5,364	△90	5,274

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△90百万円には、セグメント間取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△108百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

① 業績

(単位:百万円)

	2020年3月期 第1四半期		2021年3月期 第1四半期		前期比較		
	金額	売上高 比率(%)	金額	売上高 比率(%)	金額	売上高 比率(%)	増減率(%)
売上高	52,430		47,605		▲ 4,825		△ 9.2
売上原価	24,357	46.5	22,339	46.9	▲ 2,018	0.4	△ 8.3
販売費及び一般管理費	21,895	41.8	19,991	42.0	▲ 1,904	0.2	△ 8.7
販売促進費	9,608	18.3	8,611	18.1	▲ 997	△ 0.2	△ 10.4
広告宣伝費	2,001	3.8	1,321	2.8	▲ 680	△ 1.0	△ 34.0
運賃保管料	3,686	7.0	3,707	7.8	21	0.8	0.5
給料手当	2,109	4.0	2,093	4.4	▲ 16	0.4	△ 0.8
賞与引当金繰入額	774	1.5	723	1.5	▲ 51	0.0	△ 6.5
その他	3,714	7.1	3,534	7.4	▲ 180	0.3	△ 4.8
営業利益	6,177	11.8	5,274	11.1	▲ 903	△ 0.7	△ 14.6
営業外収益	411	0.8	474	1.0	63	0.2	15.2
営業外費用	78	0.1	79	0.2	1	0.1	1.9
経常利益	6,510	12.4	5,668	11.9	▲ 842	△ 0.5	△ 12.9
特別利益	2	0.0	0	0.0	▲ 2	△ 0.0	△ 85.0
特別損失	109	0.2	143	0.3	34	0.1	31.1
税金等調整前四半期純利益	6,403	12.2	5,525	11.6	▲ 878	△ 0.6	△ 13.7
法人税等	1,912	3.6	1,491	3.1	▲ 421	△ 0.5	△ 22.0
四半期純利益	4,490	8.6	4,033	8.5	▲ 457	△ 0.1	△ 10.2
非支配株主に帰属する四半期純利益	35	0.1	48	0.1	13	0.0	37.4
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,455	8.5	3,985	8.4	▲ 470	△ 0.1	△ 10.6

② セグメント情報

(単位:百万円)

事業	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	増減額	増減率(%)
食料品製造				
売上高	50,422	46,025	▲ 4,397	△ 8.7
(売上高構成比)	(96.2%)	(96.7%)		
セグメント利益	6,098	5,179	▲ 919	△ 15.1
食料卸売				
売上高	1,374	1,030	▲ 344	△ 25.0
(売上高構成比)	(2.6%)	(2.1%)		
セグメント利益又は損失(▲)	76	▲ 10	▲ 86	—
不動産及びサービス				
売上高	496	418	▲ 78	△ 15.7
(売上高構成比)	(0.9%)	(0.9%)		
セグメント利益	222	166	▲ 56	△ 25.3
その他				
売上高	137	130	▲ 7	△ 5.3
(売上高構成比)	(0.3%)	(0.3%)		
セグメント利益	11	29	18	170.5

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

③ 食料品製造事業 売上高・営業利益

(単位:百万円)

	2020年3月期 第1四半期	2021年3月期 第1四半期	増減額	増減率(%)
連結売上高	52,430	47,605	▲ 4,825	△9.2
営業利益	6,177	5,274	▲ 903	△14.6
食料品製造 売上高	50,422	46,025	▲ 4,397	△8.7
営業利益	6,098	5,179	▲ 919	△15.1
菓子食品 売上高	28,325	24,297	▲ 4,028	△14.2
営業利益	2,189	1,644	▲ 545	△24.9
冷菓 売上高	11,276	14,190	2,914	25.8
営業利益	1,741	2,576	835	47.9
健康 売上高	10,819	7,537	▲ 3,282	△30.3
営業利益	2,166	958	▲ 1,208	△55.8

(注) 売上高は外部顧客への売上高を表示しております。

国内売上高	47,942	43,132	▲ 4,810	△10.0
海外売上高	2,479	2,893	414	16.7

海外売上高比率(対連結売上高)	4.7%	6.1%
-----------------	------	------

④ 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の主な影響

影響が生じている主な事業・カテゴリについて		
マイナス影響	キャンディ	外出自粛に伴う行楽・土産物需要の減少、在宅勤務増加によるオフィス需要の減少等
	ゼリー飲料	スポーツ時・朝食代替など従来の主要な飲用シーンの縮小、簡便化志向の一時的な希薄化による影響
	国内子会社(事業会社)	主要得意先や販売店舗の休業による販売機会喪失、外出自粛影響による売上減少等
プラス影響	ビスケット	家庭内消費、ストック、食事代替など、巣ごもり需要の伸張
	ケーキミックス	外出自粛による在宅時間の増加に伴う内食・手作り需要の高まり
	ココア	手作り需要の高まり、健康効果への関心

* 対象の国内子会社：食料品製造セグメント(菓子食品事業) 2社、食料卸売セグメント 1社、不動産及びサービスセグメント 1社

